

令和6年度水稲作柄判定試験結果（第4回）

令和6年8月6日

大分県農林水産研究指導センター

農業研究部 水田農業グループ

1. 水田農業グループ（宇佐市、平坦地）における生育概況

「つや姫」の草丈は平年よりやや高く、茎数は少なかった。葉齢は平年よりやや進んでおり、葉色はやや濃かった。

「なつほのか」の草丈は平年よりやや高く、茎数は少なかった。葉齢は平年よりやや進んでおり、葉色は濃かった。

「ヒノヒカリ」の草丈は平年よりやや低く、茎数は少なかった。葉齢は平年並であり、葉色はやや濃かった。

8月5日時点の生育

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (/m ²)	葉齢	葉色 (SPAD 値)
つや姫	本年	91.6	385	12.6	43.6
	前年差・比	107	77	+0.5	+0.5
	平年差・比	103	93	+0.3	+1.0
なつほのか	本年	93.5	367	12.8	40.1
	前年差・比	110	79	+0.5	+2.4
	平年差・比	105	86	+0.2	+2.7
ヒノヒカリ	本年	80.4	384	12.1	38.7
	前年差・比	105	80	±0.0	±0.0
	平年差・比	98	92	+0.1	+1.7

差・比の値は、符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。

2. 気象概況／7月5～6半旬

観測値：水田農業グループ（宇佐市）、標高 30 m

- 1) 気温 【期間中の本年値：29.6℃ 平年値：27.5℃ 平年差：+2.1℃】
期間を通じて平均気温は平年よりかなり高く、特に最低気温はかなり高かった。
- 2) 降水量 【期間中の本年値：23 mm 平年値：48 mm 平年比 47】
7月5半旬には降雨がなかったが、6半旬は平年並であった。
- 3) 日照時間 【期間中の本年値：110 h 平年値：78 h 平年比 142】
期間を通じて平年より長かった。

3. 栽培上の留意点

1) 追肥

「つや姫」および「ヒノヒカリ」の幼穂長は平年より長く、「なつほのか」は短かった。以下を参考に生育状況を考慮して追肥する。

なお、適正葉色板値であれば基準とおり追肥し、葉色板値が高い場合は倒伏や食味低下が懸念されるため減量する。

【品種別追肥時期の目安】

- なつほのか 幼穂長 2～10 mm、出穂期の 22～17 日前
- ヒノヒカリ 幼穂長 10 mm、出穂期の 18 日前、適正葉色板値 4.0

幼穂長、幼穂長および地上部乾物重						
品種	年次	幼穂長 (mm)	幼穂長 (mm)	地上部 乾物重 (g/m ²)	調査日 (月/日)	予想出穂期 (月/日)
つや姫	本年	105.1	11.5	532	8/1	8/14
	前年差・比	132	235	127	+1	-2
	平年差・比	134	128	130	±0	-2
なつほのか	本年	33.0	1.1	415	7/29	-
	前年差・比	78	69	97	-2	-
	平年差・比	95	79	95	-1	-
ヒノヒカリ	本年	43.8	0.9	506	8/1	8/23
	前年差・比	165	180	130	+1	-2
	平年差・比	141	150	123	±0	-2

差・比の値は、符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。予想出穂期は、水稻生育予測システム Ver. 2 .3. 2 を用いて幼穂長から予測したものを示す。

2) 水管理

中干し終了後は根の活力を維持するために間断灌水とし、5 日以上連続灌水はしない。また、穂ばらみ期から出穂・開花期にかけて水分要求量が高まるため、水を切らさないように 3～5 cm の湛水状態を保つ。

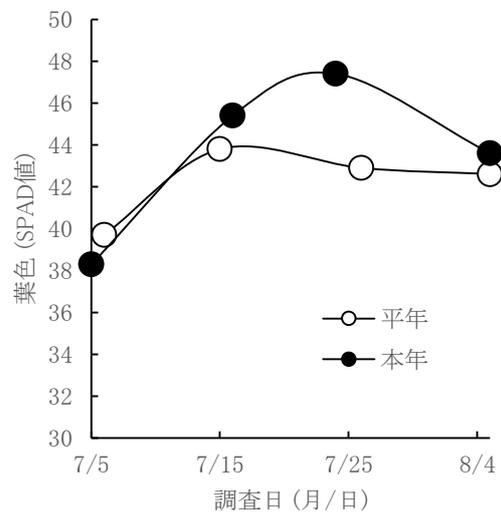
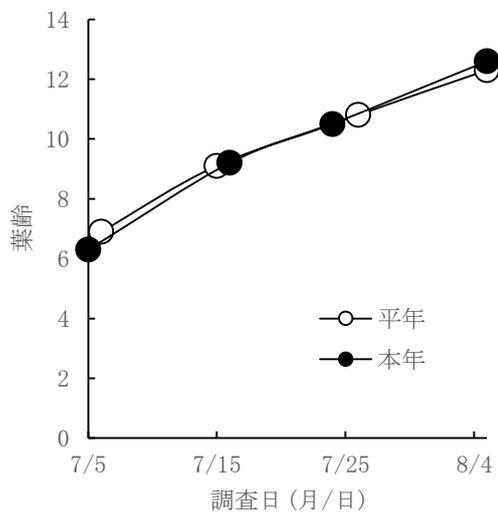
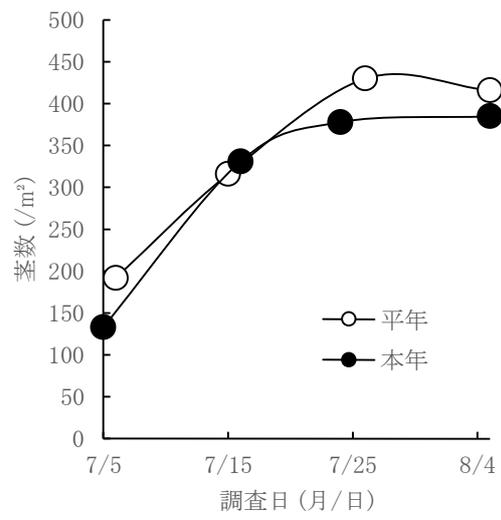
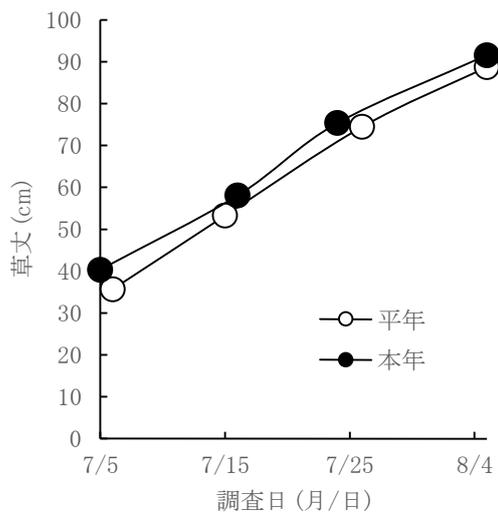
3) 病虫害防除

8 月 2 日に斑点米カメムシ類について注意報が発表された。出穂期やカメムシ類の発生状況を把握し、適期防除を行う。斑点米カメムシ類の対策として、出穂の 2 週間前までの圃場周辺の除草も有効である。

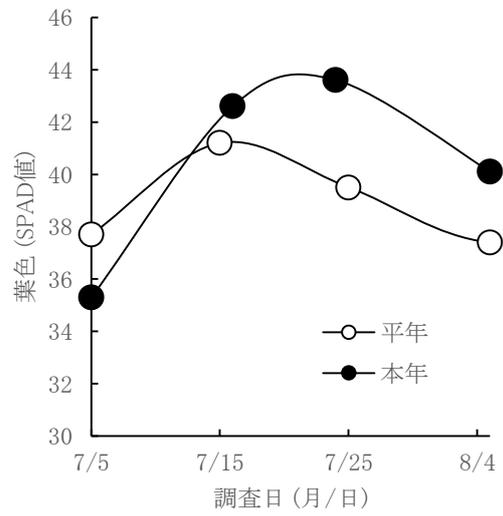
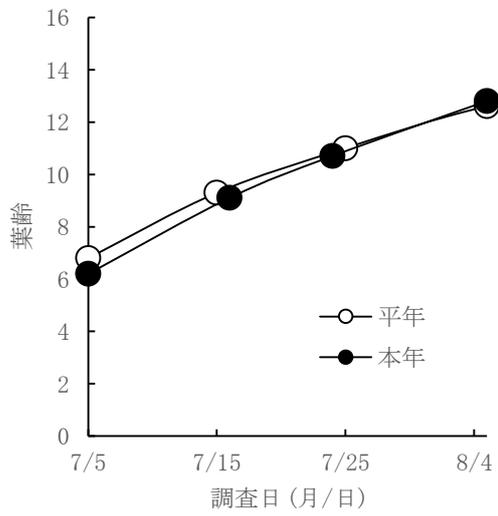
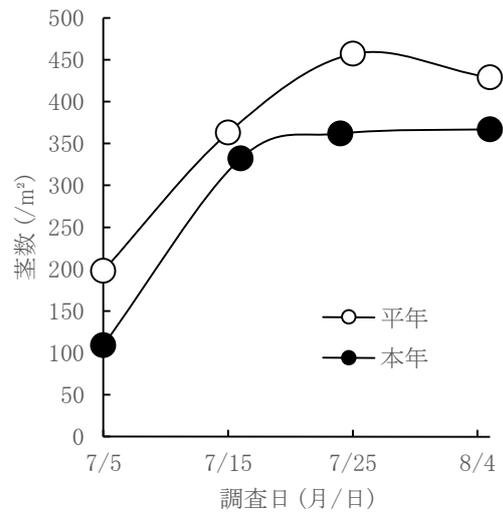
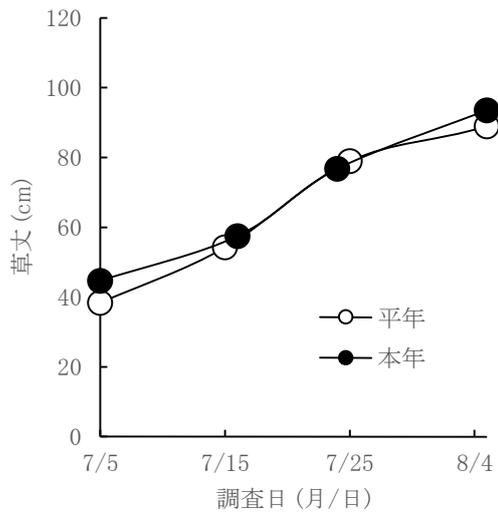
その他病虫害については、大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 病虫害対策チーム (<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>) が公表している発生予察情報を参考とする。

4. 試験方法

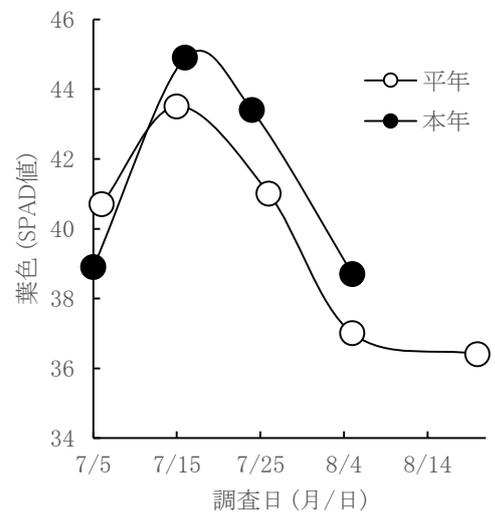
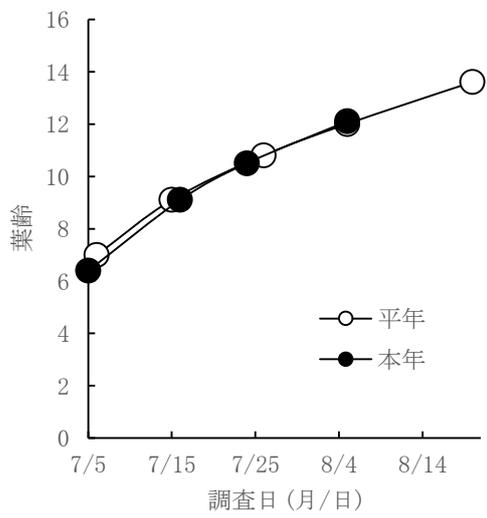
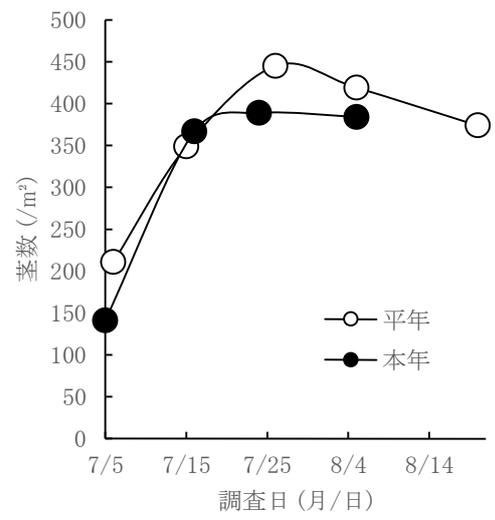
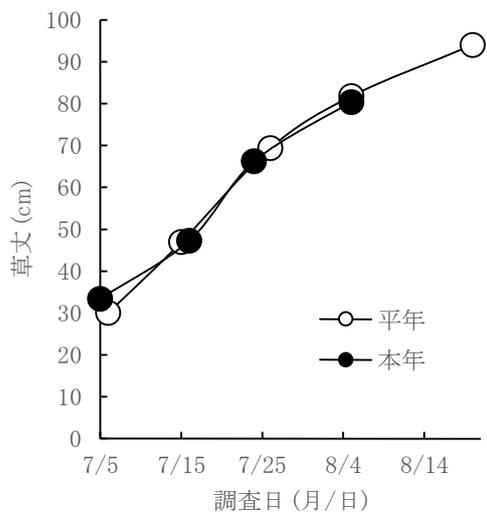
- 1) 供試品種
「つや姫」、「なつほのか」、「ヒノヒカリ」
- 2) 移植日
6月20日
- 3) 栽植密度
15.2 株/m² (条間 30 cm、株間 22 cm、1 株 4 本手植え)
- 4) 窒素施用量
「つや姫」基肥 - 追肥 = 4 - 2 kg/10a、
「ヒノヒカリ」「なつほのか」基肥 - 追肥 = 4 - 3 kg/10a
- 5) 平年値
「つや姫」「ヒノヒカリ」過去 4 カ年の平均値
「なつほのか」過去 3 カ年の平均値
- 6) 調査基準日
7月5日、7月15日、7月25日、8月5日、8月20日、成熟期



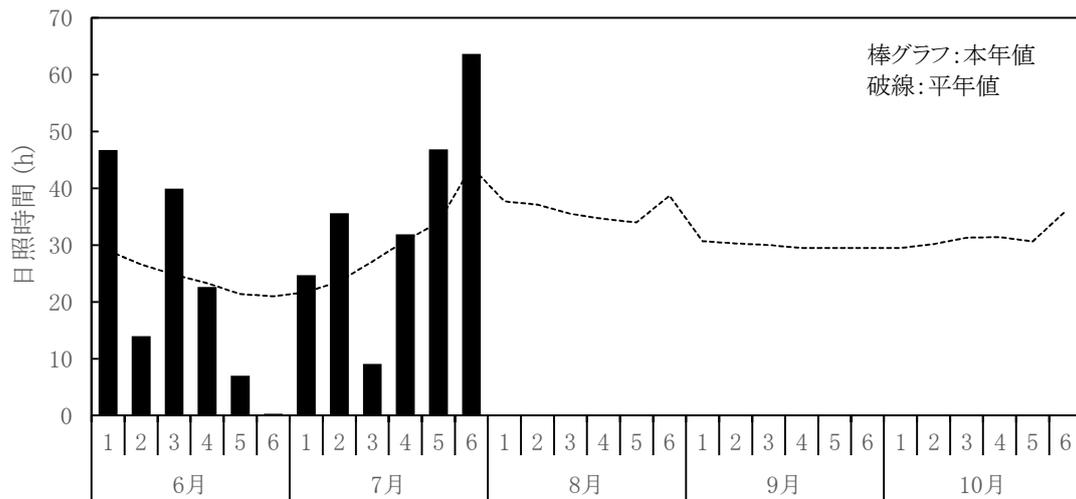
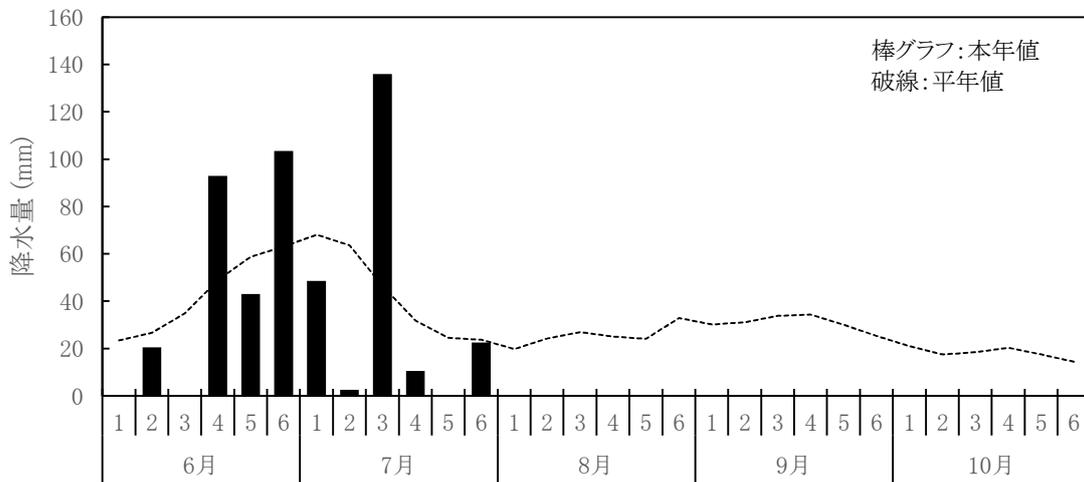
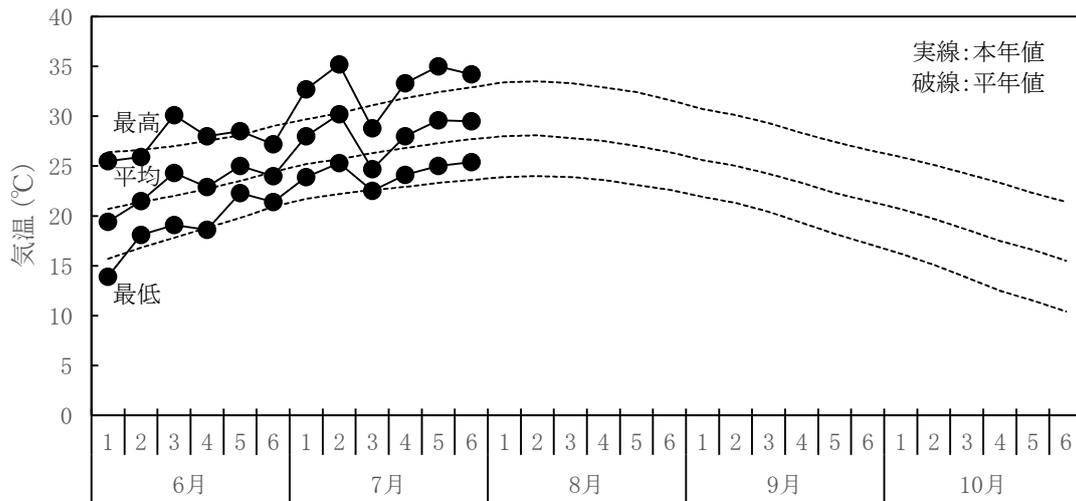
「つや姫」の生育推移



「なつほのか」の生育推移



「ヒノヒカリ」の生育推移



令和 6 年度夏作期間気象図 (宇佐市、標高 30 m)

*平年値は 1994~2023 年の 30 カ年の平均値を示す。